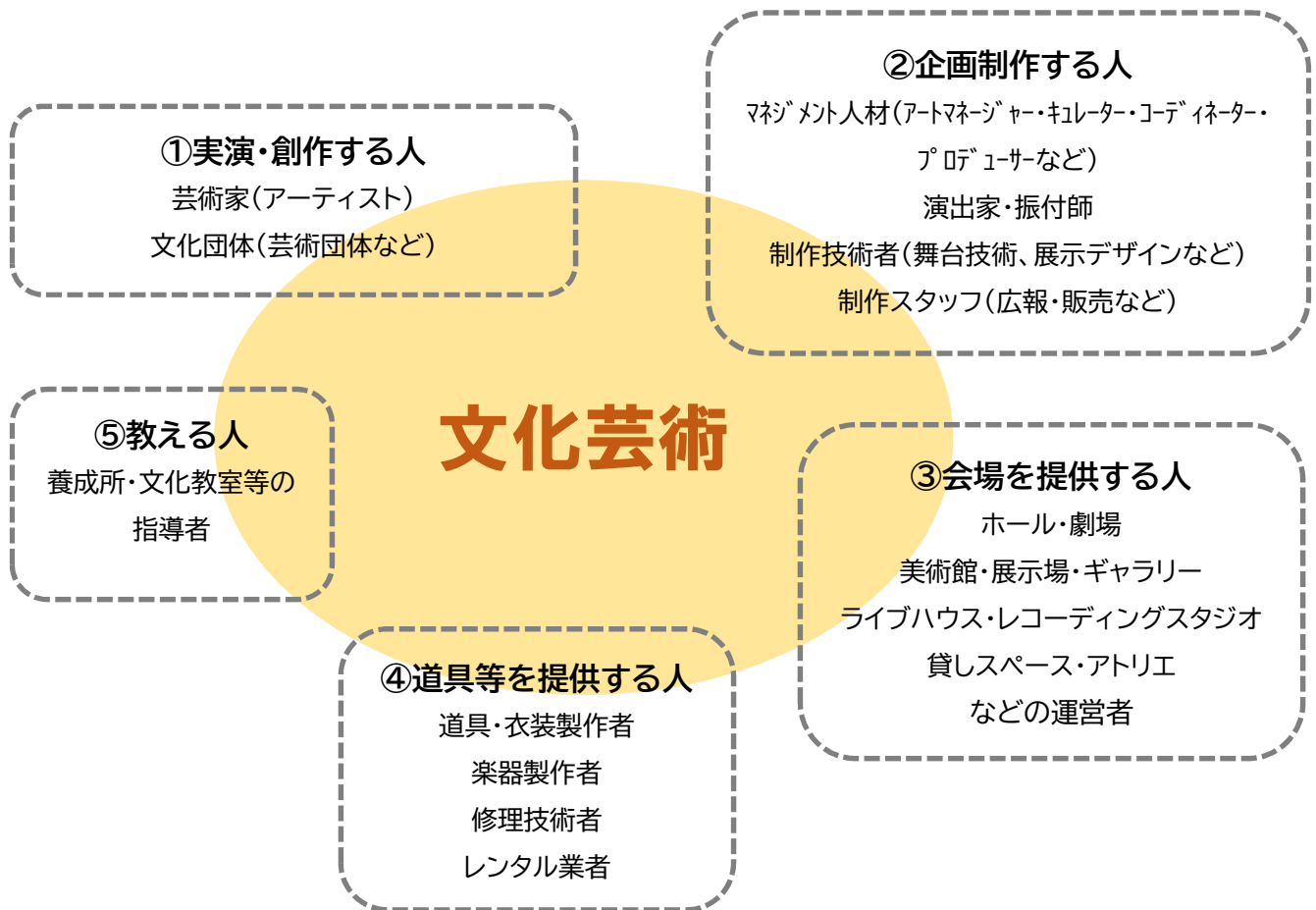


重点検討事項「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方について」

1 趣旨

県では、文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、その基礎情報となる文化芸術関係者の活動実態を適切かつ継続的に把握していきたいと考えている。



2 今後の調査案

前回の文化審議会において、「文化芸術に携わる人」の対象、対象者の把握方法について御議論いただいた。(上図参照)

その中で、①～⑤について、今年度以下のとおり対象者の把握をしていく。

また、対象者の把握とあわせて、活動状況や活動における悩み、将来についてのお考えなどを聴き取り、今後の施策の構築につなげていきたい。

①実演・創作する人

ア 芸術家

国勢調査により県内の芸術家人口を把握(平成27年度調査については別紙1参照)

調査時期:令和4年12月に公表予定(令和2年度調査分)

イ 文化団体

文化団体へアンケートを実施

調査時期:令和4年8月頃予定

②企画制作する人

対象者とネットワークを持つ団体である県内の主な文化ホール、美術館等へ聴き取りを行う予定

調査時期:令和4年9月頃予定

③会場を提供する人

令和2・3年度に県で実施した補助金の実績等から把握(別紙2参照)

令和4年度補助金からも順次情報を収集する予定

④道具等を提供する人・⑤教える人

対象者とネットワークを持つ、音楽家・美術家・舞踊家・伝統芸能関係者・生活文化関係者・文化財関係者それぞれ1人ずつへ聴き取りを行う予定

次年度以降は3名ずつにするなど、県域を網羅できるようにする予定

調査時期:令和4年9月頃予定